

永井先生からのメッセージ No.14

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2023年 10月 13日

野毛山幼稚園

【しつけ Part 3 ～子どもに分かる言葉で～】

元小学校教諭 永井 裕

★今回は、「ご家庭でのしつけ」の参考になることを願って、小学校での指導場面のいくつかをご紹介します。

① ちゃんと & きちんと & しっかりと

「ぞうきん、びしょびしょだよ。ちゃんと しばりなさい。」
 「まだ ごみ、あるよ。ほうきで きちんと はきなさい。」
 「もうすぐ2年生なんだから、しっかりと やりなさい。」

▶「ちゃんと」「きちんと」「しっかりと」。大人には便利な言葉でも、子どもには、意味不明の言葉なのでは？ そんなことを考えもせず、左のようなお説教をくり返す。初めて1年生担任になった頃は、そんな毎日でした。
 ～以来、悪戦苦闘の日々の中で～

③ その場で 見せる & やらせる & ほめる



▶例えば、傘（かさ）。幼稚園で、指導済みのことですが、改めて、傘立ての前で説明します。
 ※クラスの数も仲間も大きく変わるので。

こうならないように

- ① かさをクルッと、まるめる。
- ② ベルトで、ギョツと とめる。
- ③ まっすぐに、ピンと立てる。最後にやらせてみて、ほめる。



▶「その場で 見せる & やらせる & ほめる」。口で言うほど、簡単なことではありません。しかし、この手間暇(てまひま)こそ、子どもを自立へと導く大切な時間なのだと思います。そして数年後

② できるだけ「ちゃんと・きちんと・しっかりと」を 使わない

▶例えば、『給食の時間』。

ボタンをとめる



一番上から
給食変身ボタン
全集中

おぼんをもつ



すべり台に
ならないように
真ん中をガシッ

パン袋を 結ぶ



わっかにとおして
ギョツ

食器を 返す



はい、元どおり。
調理員さんも
ビックリ・大喜び

牛乳パックを開く



親指でパッカーン
当時のCMに便乗
☆効果あり

厚い皮、薄皮、
卵のカ方を むく



「ムキムキマン」
★効果なし
ご協力お願いします

【4・5・6年生 宿泊体験学習】

▶宿泊先で、時々、耳にした「子どもの声」。

「ママが、リュックに入れたから、どこにあるか分からない。」



▶自分一人で荷造りができるようになるのは、幼少期、「おたく」に 手間暇 をかけてもらったから。



▶入浴後の脱衣所から、よく聞こえてきた「教師の声」。

「もって入ったタオル。びしょびしょ。ちゃんと 絞りなさい。」

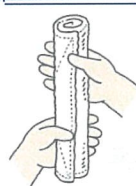
▶では、雑巾にせよ、タオルにせよ、正しい絞り方とは？
 YouTube 「おすすめ」は、私の絞り方とは違いました。
 ぜひご家庭で、「おしぼりごっこ」、してみてください。

【「給食・白衣」ウラ話】

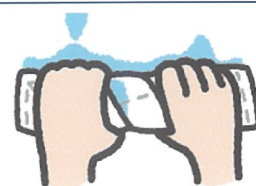
▶脱いだ白衣を 広げてたたむ場所がない。そのため、高学年でも多くの子が、丸めて袋に入れている、というのが現状です。



▶余計なお世話ですが、ざっとでいいので、右のように「立ってたたむ」「空中でたたむ」ことに慣れておくと、ちょっと「優越感」かもしれません。



【たてしぼり】



【よこしぼり】

